

ねんびょう
原町市年表

	西暦	年号	おもなできごと		西暦	年号	おもなできごと	
50年 前まで	1947	昭和22	○相馬商業学校が、県立原町高等学校になる。	30年 前まで	1963	昭和38	○国から工業を発達させるように指定される。	
	1948	23	○原町高等女学校が、原町高等学校といっしょになる。		1964	39	○市えい火そう場ができる。	
	1950	25	○消ぼうしょができる。		1965	40	○横川分校がなくなる。	
40年 前まで	1952	27	○野馬追が、国の無形文化財にみとめられる。 ○丸三製紙工場ができる。		1966	41	○市えい清そう場ができる。 ○電話がほかの都市とすぐつながるようになる。	
	1954	29	○原町、高平村、大甕村、太田村があわさって、原町市となる。 (人口、31443人) ○原町第二小学校ができる。		1967	42	○工場汚水専用排水路ができる。 ○市役所東庁舎が全焼する。 ○大町に市立児童館ができる。 ○国道6号線が全線ほそうになる。	
	1955	30	○泉廃寺跡が県の重要文化財となる。 ○上高平に青果物市場ができる。 ○駅前通りのほそう工事がはじまる。 ○テレビが見られるようになる。		1968	43	○常磐線が完全電化する。 ○渋佐分校がなくなる。 ○不動分校がなくなる。	
	1956	31	○石神村が原町市にあわさる。 (人口、41503人) ○桜井古墳が国の史蹟になる。		1968	43	○現在の市役所庁舎ができる。	
	1957	32	○原町工業高等学校ができる。		1969	44	○仲町だん地を造りはじめる。 ○堤谷分校がなくなる。 ○市民憲章ができる。	
	1958	33	○市の紋章ができる。 ○台風22号(伊勢湾台風)でこう水になる。 ○市内の学校給食が完全給食になりはじめる。		1970	45	○日立工機原町工場ができる。	
	1959	34	○原町第二中学校ができる。		1971	46	○原町第三小学校ができる。 ○市立幼稚園をつくる。 ○原町川俣線に立体橋ができる。	
	1960	35	○市の体育館ができる。 ○よう老えんができる。 ○上水道の工事ははじめる。 ○町名を新しくする。		1972	47	○相馬地方広域消防がはじまる。 ○羽山横穴古墳が見つかる。 ○県合同庁舎ができる。 ○市立病院が新しくなる。 ○ごみ処理場ができる。 ○駅の東がわの土地の区画整理がおわる。 ○市宮野球場ができる。	
	30年 前まで	1961	36		○原町第三中学校ができる。 ○電話がじどう化される。 ○市の陸上競技場ができる。 ○下水道の工事ははじめる。	1973	48	○下水処理場ができる。 ○市文化センターができる。 ○高の倉ダムができる。
		1962	37		○市民歌、市花(白ゆり)をきめる。 ○市えいごみやき場ができる。	1974	49	○米飯給食がはじまる。 ○市のし尿処理場ができる。 ○駅前通りと錦町が陸橋でつながる。
					1977	52		